

## 現代訳聖書刊行会ニュース 第2号

日付：2018年10月1日

発行：現代訳聖書刊行会代表 小坂圭吾

住所：〒176-0012 東京都練馬区豊玉北 1-12-3

聖書キリスト教会ビル

### 目次

1. 現代訳聖書ができるまで
2. 現代訳聖書刊行の意義
3. 尊い献金を感謝いたします！

### ■現代訳聖書ができるまで 尾山令仁

#### 時代に合わない旧かな遣い

私が救われた頃の聖書は文語体で、しかも旧かな遣いでした。ところが、戦後は新かな遣いが学校で教えられたため、旧かな遣いの聖書を戦後の教育を受けた人たちは読めなくなってしまいました。例えば、「幸福」という漢字に付けられたふりがなは「さいはひ」なのです。漢字を見れば、「さいわい」と読むのだと分からないことはありませんが、次第に読むのが嫌になってしまうのです。

そこで私は、神学校で聖書の原語であるヘブル語やギリシャ語を学んだということもあって、これを平易な口語訳にしてみようと思うようになりました。そうしているうちに、キリスト新聞社から「口語訳聖書」と称して、新約聖書だけでしたが、かなりいい訳の聖書が出、日本聖書協会から



も、それに続いて旧新約聖書全体の「口語訳聖書」が出されました。これはかなり問題点が多く、私たちはそのことについての質問書を出したのですが、それに対する回答は一切ありませんでした。

やむなく私たちは、アメリカのロックマン・ファウンデーションの協力を得て、「新改訳聖書」を出したのです。

### 新しい翻訳理論

#### ダイナミック・エクイバレンス

私たちは聖書の言語靈感を信じる者として、いくら言語学者とはいっても、ユージン・ナイダ博士のダイナミック・エクイバレンスという翻訳理論は受け入れがたいように思いました。

ところが私は、一つの文章で目が開かれたのです。それは、リビング・バイブルの作製者ケネス・テラー博士が「リビング・ゴースペルズ」というリビング・バイブルの分冊の序文に書いていた言葉でした。彼はおおよそ次のようなことを言っていました。「新約聖書における旧新約聖書の引用を見てみると、ヘブル語原典のままでないことがしばしばある。それでいいのであれば、このリビング・バイブルも許されるはずだ。」リビング・バイブルは翻訳ではないけれども、私は翻訳において、「原語に忠実」という翻訳原則よりも、原文の意味に忠実であれば、「ダイナミック・エクイバレンス」という翻訳原則で構わないのだという理解を得たのです。

たとえば、「三日三晩」という言葉を考えてみましょう。「三日三晩」などと言ったら笑われるでしょう。三日なら二晩だし、三晩なら四日でなければおかしいと言われるのは当たり前だからです。この言葉は、主イエスが墓の中におられた時のことに使われています。ところで、主イエスが墓の中におられたのは約36時間、つまり一日半です。それをなぜこのように言うのかといえば、足かけ三日間だからです。それなら、「足かけ三日間」と訳しておいたらいいではありませんか。

そこで私は、このダイナミック・エクイバレンスの翻訳原則に基づいて訳し始めました。つまり、私が心得ていることは、クリスチャンでない人でも、読むだけで分かる聖書をこの世に出したいということなのです。

## ■現代訳聖書刊行の意義 小坂圭吾

### 古典は難しい

私が始めて読み始めた聖書は、「口語訳聖書」でした。古典だから難しく分かりにくいだろうと、覚悟して読みました。学生で求道心も熱く、「読書百篇意自ら通ず」との故事にもあるように、“どんな難しい書も、何度も繰り返し読んでいけば、意味が自然に分かってくる”と考え、分からない所は読み飛ばし、分かる所だけを読んでいきました。クリスチャンになって「新改訳聖書」が刊行され、愛読していましたが、「聖書はなぜ、こんなにわかりにくいのか？」との思いは消えませんでした。

やがて刊行された「現代訳聖書」と「新改訳聖書」を読み比べますと、一目瞭然、新改訳聖書の分かりにくい箇所が、現代訳聖書では意味がはっきりと通じるのです。それは、現代訳聖書が「原語に忠実」と言う翻訳原則ではなく、歴史、社会、文化の違いを考慮に入れて、「原文の意味に忠実」に訳すという原則で翻訳されているからだとなりました。この翻訳原則は、ウイクリフ聖書協会や一般の翻訳書においても採用されている翻訳原則です。

### 読みやすい、分かり易い

「原語に忠実」に訳したのではわからない所を「原文の意味に忠実」に訳すわけですから、分かりやすさでは比べようもありません。読者から寄せられる愛読者カードを読ませていただくと、「読みやすく分かりやすい」というコメントが多いことに気付かされます。また、英語の聖書をセカンドバイブルとして使っていますという声もよく聞きます。英訳聖書には15種類以上の聖書があり、その大多数が“原文の意味に忠実”に訳されているといいますが、このことは、英語圏において「分かりやすい翻訳」が市民権を得ていることを示しているといえるでしょう。

ある兄弟が、彼のお父さんに何度も福音を語りますが、受け付けてくれなかった由。数年前に「この聖書は、分かりやすいよ！」と手渡したところ、「この翻訳はいい。読みやすそうだね。」と言って、

聖書を読むことに熱中し始めたそうで、やがて救いに導かれました。彼は喜びあふれて話してくれましたが、聞いている私たちも大変恵まれました。

日本人の多くは、八百万の神しか知らず、99%の人々が真の神さまを知らない方々です。一人でも多くの日本人がこの聖書を読み、救いに導かれることを心から願うものです。

## ■尊い献金を感謝致します！

### 現代訳聖書・改訂新版献金一覧

2018年1月～7月（順不同、敬称略）

田村静夫、森作悦子、星英二、小坂圭吾・克代、鈴木タカヒロ、中村篤、小野光弘、川上まり子、柴川理一郎、森本和滋、安富信也・邦子、一色美沙子、大野剛、朝沢まり子、並木公子、森田敏夫、内田彰、高村昌彦、西松新平、唄野隆、小坂直人、クリスチャン・カンパニー、前橋上泉町教会、岩槻キリスト教会

【献金額 2,444,136円】

## ■献金のお願い

献金は以下の方法がございます。

- 三菱東京UFJ銀行 江古田支店（店番 190）  
普通預金 口座：1069586  
現代訳聖書刊行会 代表 小坂圭吾
- ゆうちょ銀行 店名：098（ゼロキュウハチ）  
店番：098 普通預金口座：3677351  
現代訳聖書刊行会

※領収書が必要な方は、下記までご連絡ください。

## 現代訳聖書刊行会

〒176-0012 東京都練馬区豊玉北1-12-3  
聖書キリスト教会ビル FAX044-872-8705

E-mail: [info@logos-pb.com](mailto:info@logos-pb.com)

（ロゴス出版社内『現代訳聖書』担当）